

のぶちゃんのべすとしよっと

題名 ゆみきとう 弓祈禱



江戸時代に始まったという弓祈禱。弓祈禱は「弓放し」ともいい、瀬戸内海沿岸地方に今も残る神事です。帰農した武士たちが、かつての武士の姿を忘れないようにと行われていたそうです。3人の射手が弓を放ち、新年に五穀豊穡や無病息災を祈ります。矢の的も今年は一風変わっていますね。コロナ退治は世界中の願いです。



オンリーワン
山内信子

まだまだ私の力が必要みたいね



西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）機関紙

オンリー

バリアフリー
ペーパー
冬号
令和3年1月26日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい者当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

昨年から続くコロナ感染…未だに収束の兆しがみえてきませんね。早く今の窮屈な生活が終わる事を皆さんも待ちわびていることでしょう。私は、毎年応援に行くのを楽しみにしている愛媛マラソンの中止が、すでに決まっているからさみしいです(´Д｀)。今は一人一人が三密を避ける、手洗い、マスク等基本的なことを守りながら感染しないように気を付けるしかないですね。

(支援センター 平井)

皆様新しい年になりいかがお過ごしでしょうか。お年玉を頂き何に使おうか迷ったり、美味しいものを食べ過ぎて…。あら？ ダイエットもしなくちゃなど楽しみ方も色々だと思えます。

ある日、わが家にウエスト 40cm 身長 25cm の立派なさつま芋がやって来ました。

さて！何にしようかと考えて、やはり王道

天ぷらと、そして趣味でありますパン作りで変身

今回は、全粒粉とライ麦のバゲット生地にさつま芋を粗くつぶし、少し甘味と岩塩を加えて巻き込みました。

ほんのり甘〜いさつま芋とバゲットのコンビネーション

とてもおいしくお腹に納まりました。

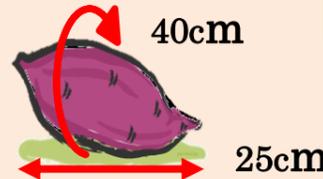
寒さもこれからかと思えます。

様々なウィルス・感染症から他人も自分も守りたいですね。

今回初めてこのコーナーを担当させて頂きました、菅桂子です。次回も宜しくお祈り致します。

(オンリーワン 菅 桂子)

私のつぶやき



編集後記

明けましておめでとうございます。皆さまのご協力のもと無事冬号を発行することができました。今回はつぶやきコーナーの菅さん、投稿コーナーの飯尾さんが初めて投稿してくれました。菅さんは、入院予定がありましたが、つぶやきの記事を引き受けてくれ、さっと原稿を出してくれました。本当にありがたかったです。飯尾さんも自分から「やってみる」と言ってくれて作業がスムーズに進みました。作品を投稿してみたい方はぜひオンリーワンまで、お知らせください。今回もクイズがさくらんぼハウスの記事の中にあっただと思います。ぜひ皆さん考えてみてください。解答はこの下にあります。

寒い日が続きますが、皆さまお体にご自愛ください。最後に本年もオンリーワンをよろしくお祈りいたします。(オンリーワン 黒河 亮)

3面問題の解答 ①大こもじ(横文字) ②ともだち(友達) ③ハカリ

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

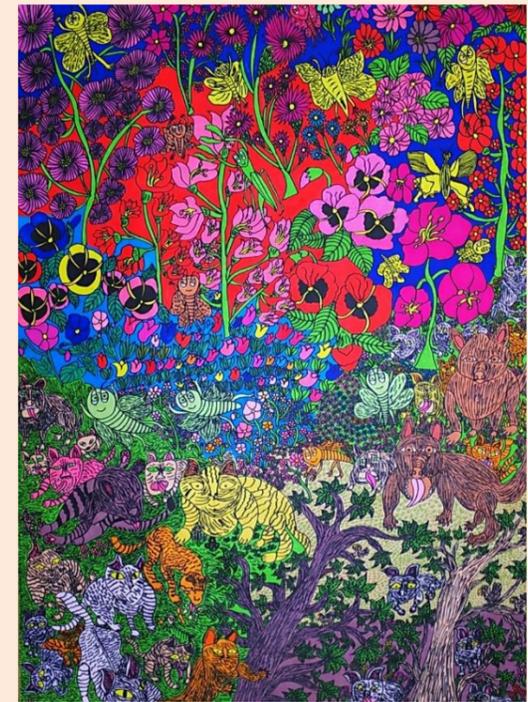
〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp

次回4月発行



作品題名 「百花繚乱を愛でる」
第6回東北障がい者芸術全国公募展
『山形県知事賞』



作品題名 「里地里山に暮らす」
愛顔広がるえひめの障がい者アート展
『特選』

作者と作品の紹介

1964年、愛媛県周桑郡丹原町生まれの56歳。幼少から中学生のころまで西日本最高峰石鎚山の麓の自然豊かな環境で育ちました。就労継続支援B型事業所Viseeに通いながら、約10年前から、慣れ親しんだ動物や色とりどりの花を主体に、ユーモラスで温かみのある絵画製作に毎日コツコツ取り組んでいます。下書きなしに迷いなく一気に描き上げる画風は、躍動的で細やかです。左の作品は、テレビ画面いっぱい咲くダリアの花を見る機会があり、その豪華で可憐な花をイメージしながら描いていきました。生家のあった楠窪には、自宅の庭に鶏をたくさん飼っていたそうです。色とりどりの草花とともに、鶏がのどかにえさをついばむ様子を配し、画面全体を豊かにしています。また、右の作品は、里地里山に暮らす動物植物をユーモラスなタッチで描き、燃えるような赤い背景が、花々を一層際立たせています。2作品ともに、色彩の鮮やかさという点におけるクオリティの高さは、群を抜いた存在ではないでしょうか。

NPO法人石鎚スクエア

就労継続支援B型事業所 Visee

管理者 篠塚 忍

令和二年度 障がい者アート展
曾我部林造さんが
『県知事賞』と『特選』を受賞



曾我部さんは「ともに受賞し、本当にうれしい。これからも楽しく描いていきたい。」と、喜びを語ってくれました。おめでとうございます。

祝



地域活動支援センター さくらんぼハウス を訪問しました



西条市総合福祉センター

施設長の星加達也さんに、お話を伺いました。

地域活動支援センターさくらんぼハウスは、西条市総合福祉センターの2階にあり、月～金の9時～17時の間、いつでも気軽に立ち寄ることができる地域に開かれた施設です。施設長の星加さんは「こ



こでは、自分の時間を自由に過ごして頂けるとよいなと思います」と話してくれました。レクリエーションなどデイケアのプログラムが実施されていて、毎週水曜日は料理教室や卓球等が行われています。利用されているのは、こころの病をお持ちの方が中心だそうで、同じ悩みを持つ仲間と一緒にステップアップする為の場所となっています。

ここに登録されている方は18歳～65歳の150人くらいで、1日に来所されるのは10人前後です。イベントの内容で人数は増えることもあります、職員4人で対応されています。

12月9日(水)のデイケアを取材させていただきました。到着すると職員さんと利用者さんの温かい拍手で迎えていただきました。この日のデイケアは卓球で、人気のプログラムなのだそう。トーナメント表には利用者さんと職員さんの名前はもちろん、健康相談の保健師さん、バスの運転手さん、私達の名前も書き加えられました。審判は施設長の星加さんで、試合開始!! 早々と負けた私達は利用者さんとお話をしながら観戦していました。皆さんは口々に「よい運動の機会になっています」「気分転換になっています」と、話してくれました。決して強烈なスマッシュなどはないのですが、皆さんねばり強くよく動いて拾います。いつもは決勝で対決するという2人が1回戦から対戦したり、たまたま見学に来られていた親子対決もあり、見どころのある大会となりました。

地域活動支援センターとは

障がいのある人に対して創作活動・生産活動・社会との交流促進などの機会を提供する日中活動の支援の場です。障がい者総合支援法に基づく市町村地域生活支援事業の一つであり、西条市にはNPO法人石錠が運営する「さくらんぼハウス」と、社会福祉法人聖風会が運営する「ちゅうりっぷ」の2か所があります。障がいがあると、社会活動をする場所が限定され閉じこもりがちになってしまうことがあります。地域活動支援センターは、そのような方達に対し、日中の居場所や生きがいづくり、日常生活での困りごとを相談できる機会を提供し、社会的に孤立した状態になる事を防ぐ役割を持っています。



ラリーが続く熱い戦いです。



保健師の村尾さんにお話を伺いました。利用されている方達の健康相談を行っているそうです。眠れない、体重が落ちる、寝つきが悪い、家族の事等、心と身体の悩みを聞いてアドバイスをされているそうです。相談できる人が近くにいらっしゃるの心強いですね。



談話コーナーはくつろげる空間になっていて、まるでお家のリビングのようでした。
(*'▽')♪



窓際にはフクロウがちょこんと仲良く鎮座していました。…癒されます。

(*'艸')



静養室もあって、横になれる長くて大きなソファもありました。仕事帰りに利用されている方もいらっしゃるの、疲れた身体を休めることもできます。



			AM:レクリエーション PM:カラオケ		
	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25

ヨガ教室 14:00～
パン教室 10:00～
AM:健康相談 PM:卓球
AM:クッキング! PM:運動教室
ハートフル石錠 11:30～
オタク会 15:30～



12月の予定表には、ワクワクするような行事がたくさん組まれていました。その中に何やら不思議な『オタク会』の文字が。

月1回、木曜日に開催されていて、まんがやゲーム・アニメ等自分が好きなものを語りつくす会なのだそう。自分の好きなことや興味のあることなどは、いつまでも話すことができますね。あるようでなかった場を設けてあるの

は、素晴らしいと思います。興味のある方は見学してみたいかがでしょうか。

壁の飾りはクリスマス仕様になっていて、25日にクリスマス会も予定されているそうです。そして川柳を詠んで批評しあう『川柳同好会』もあるそうです。虫食い川柳と名付けられている問題をみせていただき、私達はしばし熱中していました。(;'▽')

お問合せ
さくらんぼハウスの

住所 西条市神拝甲 324-2
総合福祉センター (もてこい元気館) 2F
TEL 0897-53-1803

開所時間 平日 9:00～17:00
定休日 土日、祝日、年末年始

では、突然ですが虫食い川柳から勝手に抜粋して問題を3問 (;'▽')!! モンパデキ助?
□に1文字ずつ入れて完成させてください。

- ①□□□□が頭の中をすり抜ける
- ②一人勝ち□□□□なくすこともある
- ③□□□□は身の丈に合う家を持つ 正解は4面

取材後記 身体と心の憩いの場であり、いつ来てもいいし、いつ帰ってもいい、自由に利用できるのがさくらんぼハウスなんですね。これからも、利用される方たちにとって交流を深める場であることを期待しています。(支援センター 平井)

イラストコーナー



題名 お正月
作者 山内 慎介

干支の牛をメインに新年の始まりをイメージしてイラストを描きました。

今年も皆さんにとって良い一年になりますようにと願いを込め、明るい色を使って描きました。

投稿コーナー



題名 友だちのえがお
作者 飯尾 豊

僕は笑顔が好きです。だから笑顔を描きたくて『いろいろの和』の会報に載っていた写真を見ながら、友だちの笑っている顔を描きました。



保育園のクリスマス会で園児たちにプレゼントを配る飯尾さん。この日は園児たちの笑顔に囲まれたそうです。